

## 加速アクションプラン個票

<b>①実施項目</b>	29 人事評価制度構築事業	②No.44	実施状況 検討中			
<b>③加速プラン事業名</b>	人事評価制度					
<b>④所管課</b>	総務課					
<b>⑤現状と課題</b>	<p><b>【現状】</b>                      H14年度 人事考課試行開始                      H17年度 考課表見直しのため休止                      H18年度 再試行</p> <p><b>【課題】</b>地方分権が進むと、自ら考え、企画立案し、それを執行し、その結果に対して責任をとっていくというように、それに見合う意欲や能力を発揮できる職員が一人でも多く必要になる。また、財政の逼迫から職員数の削減あるいは凍結が必要な中、政策の選択と少数精鋭的な対応にならざるを得ない。そのような中で、国は人事評価制度を導入し、配置、昇任、給与処遇等に反映させることとなった。                      村でこれまで試行してきた人事考課制度をこの制度にそのままあてはめるのは、考課者による評価の差や、目標設定の仕方による評価逆転、考課そのものからくる職場環境の変化など、一考を要するものと考えられる。</p>					
<b>⑥取組み内容</b>	①これまで行ってきた人事考課試行の検証と人事評価制度実施のための検討。 ②人事考課試行の検証を踏まえた、制度見直しによる人事評価制度の実施					
<b>⑦年度計画</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平成19年度から平成21年度までは集中取組期間です。	①制度の見直し及び検討			②制度の見直し結果に基づく運用		
<b>計画値</b>	単位(%)			100	100	100
<b>実績値</b>	単位(%)					
<b>⑧目標</b>	<p><b>【計画値算式】</b> 人事評価実施職員数 / 一般職及び労務職員総数                      今までの人事考課制度の試行を踏まえた、新人事評価制度を構築することにより、職員の勤務意欲の向上、人事評価の客観性・公平性・透明性の確立を目指す。</p>					
<b>⑨効果</b>	人事評価により、職員への評価が客観性等をもって行われることにより、職員の勤務意欲の向上が見込まれる。					
<b>⑩達成度</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	見直しに向け資料の収集、研修会への参加	見直しに向け資料の収集、研修会への参加	/	/	/	/
<b>⑪国集中改革プラン報告項目別全体計画(対H16)※当該加速プランが含まれる項目について表記</b>						
<b>【項目名】給与見直し</b>	H17	H18	H19	H20	H21	合計
計画値	/	/	/	/	/	0
実績値	/	/	/	/	/	0
差額	0	0	0	0	0	0
単位:千円						